



CAMPUS

Vol.
143

令和7年3月発行

2025 SPRING
奈良工業高等専門学校

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22
奈良工業高等専門学校 広報センター
TEL. 0743-55-6034 (CAMPUS担当)
ホームページ <https://www.nara-k.ac.jp>
メールアドレス gakusei@jimu.nara-k.ac.jp



C contents

巻頭言	02
学生アイデアチャレンジ	03
SES2024インタラクティブポスター賞	
卒業・修了予定者 進路状況	04
卒業・専攻科修了おめでとう!	05
クラブ・同好会紹介(バドミントン部・数学同好会)	08
吹奏楽部 海外大学との合同コンサート	

令和6年度後期 学生表彰者一覧	09
令和6年度 英語学習表彰者一覧	
グローバル教育センターから	10
しなやかエンジニア教育プログラム	
なでしこプロジェクト	11
郡山城天守台プロジェクションマッピング	
学生支援センターから	

I information

- ☆全国高専ラグビー大会結果報告
- ☆高専祭について
- ☆キャンパスメンバーズ制度
- ☆卒業記念品の寄贈



奈良高専公式HP



奈良高専公式X (旧Twitter)



飯田 賢一

学生主事

このキャンパス2025春号が発行される頃には、春の息吹が感じられ、多くの高専生が学び舎を巣立ち、社会へと羽ばたいていく季節となっていることでしょう。卒業生・修了生のみなさんは、5年間や7年間あるいはもっと時間をかけての研鑽を経て、専門的な知識や技術を身につけ、社会に貢献する準備を整えてきました。本当におめでとうございます。高専で培った「ものづくり」の精神と、弛まぬ探究心は、未来を創造していく力となると思います。ご存知の通り、日本では少子高齢化が進み、超高齢社会ですが、統計的に2025年には65歳以上の方々が3割にものぼると言われています。みなさんには、これからの社会を支えて欲しいと願っています。また、人生100年時代という言葉も耳にしたことがあるかと思います。みなさんの人生はこれからであり、その前途には、無限の可能性が広がっています。どうか、失敗を恐れず、果敢に挑戦し続けてください。みなさんの活躍が、日本経済・地域社会の発展、そしてグローバルな日本の未来を拓く力となることを期待しています。

本校を巣立っていく学生がいる一方、この春には新入生を迎えることになります。高専での新しい生活に心を躍らせていることでしょう。学生主事を2年間務めて、新入生・在校生に幾度となく伝えていることの一つは自転車通学です。現代社会において、自転車は重要な交通手段の一つです。しかし、並走、信号無視、イヤホンを装着しての運転、歩道での速度超過、スマホを見ながらの運転など、危険で迷惑な行為は枚挙に暇がありません。これらは、改正道交法においても「青切符」の対象となる行為にもなっています。自転車は「車両」です。自動車やバイクと同じように、交通ルールを守り、安全運転を心がける必要があります。自転車運転のマナー向上は、自分自身の安全を守るだけでなく、周りの人々の安全にも繋がることを忘れないでください。一部の学生の交通違反やマナー違反によるトラブルから、正しく自転車を利用している学生への迷惑に

なることも忘れないでください。特に、在校生のみなさんには、模範となる行動を示して欲しいと願っています。さらに、交通事故の防止及び自転車の安全利用をより進めることを目的として、令和7年度より、自転車で通学する全学生にヘルメットの着用を義務化いたしました。頭部を守ることは非常に重要ですので、安全基準を満たしているヘルメットを正しく装着して通学してください。今一度、自転車の交通ルールとマナーを見直し、安全で快適な自転車ライフを送りましょう。

新入生・在校生に伝えたいことの二つ目は、アルバイトです。学生のみなさんには学業ファーストで、そのつぎに課外活動に熱心に取り組んでもらいたいと思っています。ですが、経済的な理由からやむを得ずアルバイトをする場合や、社会の仕組みを知ること、コミュニケーション能力を高めるなどといった社会勉強の一環でアルバイトをする場合もあるかと思います。その場合は、その目的をしっかりと理解して、学業に支障のない範囲で行なうようにしてください。また、近年、深刻な社会問題として取り沙汰されているのが「闇バイト」です。高額な報酬を謳い文句に、若者を犯罪に巻き込む闇バイトは、決して許されるものではありません。闇バイトの実態は、詐欺や窃盗などの犯罪行為に加担させられるケースがほとんどです。軽い気持ちで闇バイトに手を染めてしまうと、とり返しのつかない結果を招くことになります。「楽しんで稼げる」といった甘い言葉には、くれぐれも注意してください。真面目に努力することの大切さを忘れずに、有意義な学生生活を歩みましょう。

最後に、卒業生・修了生のみなさんに改めてエールを送ります。みなさんは、日本の未来を担う貴重な人材です。高専で培った「創造の意欲」、「幅広い視野」、「自律と友愛」、そして「ものづくり」の精神を活かし、社会に貢献してください。困難に立ち向かう勇気と、未来への希望を胸に、大きく羽ばたいてください。教職員一同ならびに保護者の方々も、皆さんの活躍を心から応援しています。結びに卒業生・修了生のみなさんのご多幸を心から願い、巻頭言とさせていただきます。





奈良高専学生アイデアチャレンジについて

産学協働・地域創生研究センター長
上野 秀剛

通称学チャレと呼ばれるこの取り組みは、実践能力や課題解決能力を高めてもらうことを目的に、学生自らが掲げた目標を主体的に実施する計画を支援しています。今年度は、公益財団法人 寺田科学技術育英会、奈良高専地域イノベーションコンソーシアム、奈良高専同窓会のご支援をいただき、採択枠を5件、1件あたり最大20万円までに規模を拡大して実施しました。昨年7月に採択された右の5件のプロジェクトには、2月の発表会で学内外の方に成果を報告してもらいました。学生の皆さんはぜひ来年度チャレンジしてみてください。

- Life With 3D Printing
～声で操る3Dプリンター～
- はがきや封筒をポストに投函するドローン
－ 郵便のラストワンマイルに革命を－
- 飲食店データプラットフォーム
- 温度が一目瞭然!?キラキラPC!!
- 挨拶ゴミ箱ロボットプロジェクト



学生アイデアチャレンジ 挨拶ゴミ箱ロボットプロジェクト

専攻科 システム創成工学専攻 機械制御システムコース1年 川崎 孝太郎

私たちはゴミのポイ捨て、溢れ返りを防止するロボット搭載ゴミ箱を製作しました。

近年、景観保護、いたずら対策のため市街のゴミ箱の量が減少し、それに伴うポイ捨て、ゴミ箱の溢れ返りが問題となっています。

そこで私たちは、ロボットとの対話を通じて、ポイ捨て、溢れ返り防止を促すゴミ箱の製作を行いました。

本プロジェクトは機械、電気、電子制御、情報工学科出身の専攻科生の学生が参加し、「挨拶、対話ができるロボットを作り

たい」「授業で考えた、ゴミ問題解決を目標としたゴミ箱を実際に作りたい」というアイデアを組み合わせました。

限られた期間内でスケジュール管理を行い、各学科の強みを活かして、学生がそれぞれ得意とする作業を担って製作を進めました。

その中で他分野の知識、技術に触れることができ、自身のスキルアップにもつながりました。

本プロジェクトを通して学生の「こんなものを作りたい!」を実現できる学生アイデアチャレンジのもと課題解決に向けた製作物開発ができました。



SES2024におけるポスターセッションの工夫と学び インタラクティブポスター賞受賞

専攻科 システム創成工学専攻 情報システムコース2年 青木 晃汰

ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2024において、ポスターセッションに取り組む際、私は自身の研究分野の専門的な要素をいかにわかりやすく簡潔に伝えるかを重視しました。複雑な概念を整理し、視覚的に理解しやすい図を大きく書くことで、初見の方でも研究の全体像を掴めるよう工夫しました。また、質疑応答の際には、相手がどこで理解に躓いているかを丁寧にヒアリングし、そのポイントに応じて説明を柔軟に変えることを心がけました。この対話的なアプローチにより、単なる説明ではなく相互理解を深めることができました。さらに、頂いた指摘に対しては受け身で終わらず、自分の中で咀嚼したうえで逆質問を行い、議論を発展させる姿勢

を大切にしました。このプロセスを通じて、自身の研究に対する新たな視点や課題を発見する貴重な機会となり、ポスターセッションが単なる自身の一方的な発表の場ではなく、建設的なフィードバックを得る場として大きな学びを得ることができました。研究に活かせるようなデータを提供できるといったお声がけなどもあり、非常に有意義な会議になりました。





卒業・修了予定者 進路状況

(令和7年1月31日現在)

令和6年度 第5学年卒業予定者 大学編入学等進学状況

区分	大学名・学部名	人数
高 専	奈良工業高等専門学校 専攻科	37
専攻科	小計	37
国立 大学	長岡技術科学大学 工学部	8
	豊橋技術科学大学 工学部	6
	東京大学 工学部	1
	東北大学 工学部	3
	大阪大学 工学部	3
		基礎工学部 1
	筑波大学 生命環境学群	1
	千葉大学 工学部	1
	東京工業大学 生命理工学院	2
	金沢大学 理工学域	2
	広島大学 理学部	1
	室蘭工業大学 理工学部	1
	宇都宮大学 工学部	1
	福井大学 工学部	2
	岐阜大学 工学部	1
	三重大学 工学部	4
	京都工芸繊維大学 工芸科学部	4
	奈良女子大学 理学部	1
		生活環境学部 2
	愛媛大学 工学部	1
	小計	46
公立 大学	大阪公立大学 工学部	7
	小計	7
私立 大学	立命館大学 理工学部	1
	小計	1
合計		91

令和6年度 第5学年卒業予定者 就職内定状況

企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数
artience	1	ジェイテクト	1	日本電気計器検定所	1
アイ・システム	2	J-POWERハイテック	1	任天堂	3
アイシン	1	JERA	1	ハイマックス	1
アイング	1	資生堂ホネケーキ工業	1	パナソニック インダストリー	1
旭化成	3	品川工業所	1	パナソニック オートモーティブシステムズ	1
味の素	1	Japan Advanced Semiconductor Manufacturing	2	ハル研究所	1
アステラス製薬	1	神鋼テクノ	1	日立建機	1
eBASE	1	SCREEN セミコンダクターソリューションズ	1	ファインディックス	2
NSD	1	SmarrtHR	1	FIXER	3
大阪ガスネットワーク	1	住友電気工業	1	フェンリル	1
オブテージ	1	全星薬品工業	1	フリュー	1
オブテックス・エフエー	1	第一三共バイオテック	2	堀場アドバンスドテクノ	1
オムロンソーシアルソリューションズ	1	第一三共プロファーマ	1	本田技研工業	1
カネカ	1	ダイキン工業	1	Mipox	1
川崎重工業	1	太陽ファルマテック	1	マツダ	1
関西電力	1	タカラベルモント	1	丸善石油化学	1
キヤノンメディカルシステムズ	2	東海旅客鉄道	1	水資源機構	1
近畿日本鉄道	1	東京エレクトロン	1	三井化学	1
クオリカプス	1	TOA	1	三菱ガス化学	1
クボタ	2	TONE	1	三菱重工業	2
KEC関西電子工業振興センター	1	中西金属工業	1	村田機械	1
KHネオケム	1	奈良県庁	1	村田製作所	1
国立印刷局	1	南海電気鉄道	1	安川電機	1
サンシード	1	西日本電信電話	1	UBE	1
サントリー	2	西日本旅客鉄道	2	横河マニュファクチャリング	1
サントリープロダクツ	2	ニチアス	1	合計	95
シーメンスヘルスケア	1	日東電工	1		

令和6年度 専攻科修了予定者 大学院進学予定状況

大学院名	研究科名	人数
長岡技術科学大学大学院	工学研究科	1
京都大学大学院	人間・環境学研究科	2
東北大学大学院	工学研究科	3
九州大学大学院	総合理工学府	1
大阪大学大学院	工学研究科	3
千葉大学大学院	融合理工学府	1
金沢大学大学院	自然科学研究科	1
静岡大学大学院	総合科学技術研究科	1
京都工芸繊維大学大学院	工芸科学研究科	1
奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	10
徳島大学大学院	創成科学研究科	1
九州工業大学大学院	生命体工学研究科	2
合計		27

令和6年度 専攻科修了予定者 就職内定状況

企業名	人数
天野エンザイム	1
NECネットエスアイ	1
キヤノンメディカルシステムズ	1
サントリーホールディングス	1
J-POWER/ハイテック	1
島津メディカルシステムズ	1
デンソー	1
西日本電信電話	1
パナソニックプロダクションエンジニアリング	1
藤田油機	1
三井化学分析センター	1
MUGENUP	1
LIXIL	1
レアソンホールディングス	1
合計	14



卒業おめでとう！

機械工学科5年 上代 稜真

私が入学した年は、新型コロナウイルスの影響で授業が遠隔となりました。不安な日々でしたが、課題の相談やゲームを通じて仲を深め、唯一開催された高専祭も通話をしながらといった遠隔ならではの楽しみ方ができました。遠隔だからこそできたことも多く、すべてがかけがえない思い出です。

3年次には、1年間を通してグループワークを行う授業がありました。遠隔期間明けで狭まっていた人間関係が広がり、クラスの雰囲気も変化したことを覚えています。図面作成のために遅くまで残ったり、作業台を壊してしまったり色々なことがありましたが、完成したときの達成感は



4年 スポーツ大会



高専生活最後の体育の授業

今でも忘れられません。

環境の変化が少ないとアハ体験のように成長を実感しにくいものですが、振り返るとコンテスト参加や研究活動など多くの挑戦をしてきました。提出遅れや作業の失敗も貴重な経験で、それらを通じて今の自分があります。そうした経験の中で、周囲の仲間も努力していることに気づきました。共に過ごした時間の中で、互いに成長したことを実感しています。

最後にはなりますが、この5年間ともに歩んだ仲間、また様々な面で支えてくださった先生方や先輩方に心から感謝を申し上げます。

機械工学科5年学級担任 平 俊男

卒業おめでとう!!

入学式もなく、5月まで授業もなく、同級生の顔も性格もほとんど分からないままに7月までリモート授業だった皆さん、不安でいっぱいの高専生活の始まりだったと思います。春には、社会人や学生として、それぞれの新しい舞台でスタートを切る君たち、どんな未来が待っているのでしょうか？いつも順風満帆とはいかないかもしれませんが、奈良高専機械工学科で友人たちと過ごした時間を思い出しながら、困難を乗り越えていってください。改めておめでとう。お元気で!

電気工学科5年 岡本 響

長いようで短かった5年間は、とても充実した日々でした。5年前、新型コロナウイルスの影響でオンライン授業に始まり、不安を抱えながら高専生活が始まりました。対面授業が始まってからもしばらくは行事が中止になったり、あらゆる活動に制限がかかったりと、窮屈な環境で過ごしてきました。そんな中でも、テスト前に友達と一緒に勉強したり、レポート課題に協力して取り組んだりして楽しい時間を過ごすことができました。クラス以外でも、学寮や学生会執行部、高専祭実行委員会で多くの友人と出会



4年生の校外学習



最後の体育

い、たくさんの思い出ができました。中でも、ひときわ記憶に残っているのが、4年生の時の高専祭です。コロナ禍以降初めてのオフライン開催に向けて、ノウハウがない状態から取り組み、大成功を収めることができました。一つの目標に向けて協力して取り組み、さまざまな困難を経て感じた達成感は、一生忘れることのない思い出になるでしょう。

最後になりましたが、授業や研究、課外活動や進路など、さまざまな面で世話になった教職員の皆様、学生生活を充実したものにしてくれた課外活動の仲間たちやクラスメイトに、心より感謝を申し上げます。5年間、本当にありがとうございました。

電気工学科5年学級担任 石 飛 学

卒業おめでとう! みんなが初めて揃って本校に来た2020年の6/25(木)、やっと会えた特別な日、よく覚えています。この5年、生成AIや自動運転の車が誕生し、スマホを画面ごと折りたたんでもびっくりしなくなりました。一方で物価が上昇し、マック170円～時代に(私の学生時代60円)。そんな中、みんなは部活で活躍したり、進級ギリギリで走り回ったり、一緒に悩んだことも。すごい変化とともに過ぎた5年間でした。これから世の中もっと加速して変わりそうですね。こんな時代だからこそ、電気エンジニアがめっちゃ期待されています! 人のつながりを大事にして、変化を楽しむ勢いで頑張ってください。

卒業おめでとう!



電子制御工学科5年 速水 鴻

推薦入試のとき、隣の席の人に声をかけられました。後に親友となるその人は、共に学力入試で合格し、偶然にも同じ学科、同じ少数派の大和小泉駅で、さらには同じ部活に入りました。新しい環境に飛び込む中で、奈良高専で最初にできた友達は、とても心強い存在でした。

入学当初はオンラインでの交流が中心でした。初めて顔を合わせたのは、クラスのグループLINEのビデオ通話。名簿でしか知らなかったクラスメイトたちと話すことで、初めて奈良高専に入学した実感が湧きました。2、3年生になると対面での交流が増え、友達の輪が自然と広がっていきました。所属していた「からくり部」では、20時までの活動、帰宅後の会議、通話をつなぎながらのロボット設計、合宿など、メンバーとは、家族よりも長い時間を過ごしま



卒研発表終了

した。彼らは、まるで家族のような存在になりました。

高専の5年間で、同級生や先生方、先輩や後輩など、僕は本当に多くの人と出会いました。日常の何気ない会話や、一緒に遊びに行ったことなど、今でも昨日のこのようです。卒業後も、お互いを高め合い、切磋琢磨できる仲間であり続けたいと思います。

「みんな大好き♡奈良高専!!」5年間、本当にありがとうございました!



スポーツ大会

電子制御工学科5年学級担任 櫛 弘明

ご卒業おめでとうございます!皆さんの旅が一段落し、次のステージへと進む時が来ました。この5年を振り返ると、まるでジェットコースターのような日々でしたが、そのすべてが皆さんの成長の糧となったと思います。これからも時には道に迷うこともあるでしょうが、笑顔とユーモアを忘れずにそれぞれの夢に向かって自信を持って歩んでください。覚えておいてください、成功の秘訣は「しっかり食べて、よく寝ること」です。どんなに大きな夢も、健康な体があってこそ達成できます。困難に直面した時は、奈良高専で学んだことを思い出してください。いつでも母校に戻って、笑い話とともに成長の報告を聞かせてください。新しい冒険の始まりを心から祝福します!



情報工学科5年 数中 天空

私が奈良高専での5年間で大切に続けたことは、人と関わり続けることでした。

私達が高専の入学試験を受験するのとほぼ同時に新型コロナウイルスの流行が始まり、入学式も行うことができませんでした。1年の前期の大部分をオンライン授業で過ごし、顔もほとんど知らないクラスメイトと連絡を取り合っていたのを覚えています。対面での授業が始まって、入りたかったバドミントン部は活動ができず、最初は再開までのつなぎのように軽音楽部に入部しました。しかし、この軽音楽部に入部したおかげで、私の高専での知人の数は劇的に増えたと思っています。最初のバンドメンバーは同じクラスの3人でしたが、ライブなどで普段ほとんど交流することのない他学科の学生と交流するようになり、多くの人と出会うきっかけとなりました。またもともと人の前に立つのは好きだったので、スポーツ大会で仮装したり、高専祭ではのど自慢大会



2023年度工場見学

に出てみたりしているうちに更に交友関係の輪を広げることができました。その結果、学科・学年に関わらず、学校の内外で多くの人と楽しい思い出を作ることができました。人と関わり生まれたつながりや経験はきっとどこかで活かすことができると思います。広い高専なので、みなさんも恐れずいろいろな人と関わり続けることに挑戦してください!

最後に、5年間にお世話になったクラスみんな、先生方、そして奈良高専にありがとう!



2024年度体育の授業

情報工学科5年学級担任 市川 嘉裕

私が担任として関わるようになった当時3年生の皆さんは、まだ“高校生”という印象が強く、しかし、コロナ禍で制限の多い中で、学生生活を十分に楽しめていないのではないかと感じていました。それからの2年間、皆さんは大きく成長しました。これから進む道は人それぞれですが、どんな出来事もすべて経験です。何をして、何を考え、次にどう繋げるのか。それが重要です。皆さんならどんな環境でも自分なりの道を切り拓いていけると信じています。卒業おめでとう!(そして、もしAIを使うことがあれば、どうか優しくしてね!)



物質化学工学科5年 河野 晃大

楽しみ、苦難に満ちたたくさんの出来事に一喜一憂し、膨大なレポートに絶望しながらも間違いなく充実した最高の5年間だったと今になって思います。

自分たちの代は1年生のころにコロナが蔓延したたくさんの制約の中、学生生活が始まりました。もう…も、もう、もう1周コロナのない学生生活を?なんて思うこともありますが、2周目のレポートは書きたくないので前に進むことにしました。

思い返してみると、本当にいろいろなことがありました。内気な自分は最初はクラスメイトと打ち解けられなかったのですが、体育祭や、高専祭、学生実験などが詰まった5年という長い期間や、心優しいクラスメイトのおかげで、今ではたくさんのかけがえのない友人を得られました。その

5年スポーツ大会



5年卒業研究発表

おかげか、毎日楽しく過ごすことができ、長いはずの5年という期間があったという間に過ぎていきました。

また今となっては、あの苦しかったレポートも、ともに実験した友人や先生方のサポートのおかげで自分の力になったと実感できます。先生方が一回一回のレポートに長い時間をかけてディスカッションや、添削をしていただけてことは本当に大変なことでしょうし、おかげで何物にも代えがたい財産になりました。ここまで尽くしていただけて、先生方には本当に頭上がりません。

最後になりますが、この5年間成長を見守ってくださり、自分のはちゃめちゃんな自由奔放に付き合ってくれた先生方や、友人に心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。そして、大変お世話になりました。

物質化学工学科5年学級担任 亀井 稔之

卒業おめでとうございます! 皆さんが高専で過ごした5年間は、まさに楽しいことや挑戦がたくさん詰まった日々だったと思います。これからも自分らしく、ありのままの姿で新しい世界に飛び込んでください。

卒業後の進路はそれぞれ異なると思いますが、どの道を選んでも、自分の信念を持ち続けてください。進学する人も、就職する人も、新しい環境での挑戦を楽しんでください。困難に直面しても、仲間と共に乗り越え、笑顔で進んでいってください。皆さんの未来が輝かしいものであることを心から願っています。これからの皆さんの活躍を楽しみにしています。

専攻科 修了おめでとう!

システム創成工学専攻 機械制御システムコース2年 松本 尚樹

7年間の高専生活は、長いようで短い日々でした。専攻科では、研究を通じて数多くの発表経験を積むことができ、他高専の学生とつながる機会にも恵まれました。また、最新のデジタルファブリケーション機器を頻繁に使用する機会があり、高専だからこそ好きなモノづくりに絶えず触れることができたと感じています。これまで支えていただいた先生方や苦楽を共にした学生の皆さん、そして家族に心から感謝したいと思います。ありがとうございました。

システム創成工学専攻 情報システムコース2年 徳田 翔

この7年間を思い返すと部活動や授業、研究など大変ではあったもののやりがいがあり、楽しかった思い出でいっぱいです。特に専攻科に進んでからは新しい仲間や先生方に恵まれて、支えられながらも充実した日々が過ごせました。またグループワークや発表の機会が増え、今後活かせる経験を沢山積むことができて専攻科に進み良かったと思います。

最後に温かく指導してくださった先生方、研究室のメンバーや同級生に感謝します。ありがとうございました。

専攻科長 中村 秀美

皆さん、専攻科修了おめでとうございます。皆さんは2年間、失敗を重ねながら研究活動に打ち込んできたと思います。失敗から学ぶ経験を重ねた人は、失敗を恐れない強さが身に付き、次に挑戦するときに勘が働くようになります。この力こそが社会で通用する創造性に繋がる力となります。それぞれ、新しいステージに歩みを進めることとなりますが、これからも夢に向かって色々なことにチャレンジし、多くの失敗の中から学び、皆さんの人生の扉を切り開いて行ってください。皆さんの未来が幸福で素晴らしい人生になることを祈っています。

システム創成工学専攻 電気電子システムコース 寺邊 心菜

振り返ってみると、この7年間は本当に楽しく、あっという間でした。部活や研究室では、たくさんの思い出やかけがえのない仲間との出会いがありました。本科5年次から取り組んだ研究では、論理的に考える力や、他者と議論する上でのコミュニケーション能力が向上しました。特に専攻科では、国際会議での発表など、貴重な経験をさせていただきました。最後になりましたが、これまで支えてくださった先生方、一緒に楽しい学校生活を送ってくれた友人に心から感謝申し上げます。

物質創成工学専攻2年 縄手 祥希

奈良高専での長い学生生活も、ついに終わりを迎えました。特に専攻科での二年間は失ったものもないとは言えませんが、その分研究に没頭でき、多くの学びと成長がありました。ここで培った専門能力、分析力、課題解決能力を、これからの道で存分に活かしていきたいと思います。支えてくださった先生方、研究室の先輩・後輩、そして奈良高専に関わるすべての方々に、心から感謝申し上げます。これまでの経験を糧に、新たな挑戦へと進んでいきます。





クラブ・同好会紹介

vol.31

体育部		文化部	同好会
アーチェリー	ソフトテニス	からくり	化学同好会
合気道	卓球	機械研究会	合唱同好会
弓道	バスケットボール	軽音楽	クイズ研究会
剣道	バドミントン	茶道	手芸同好会
硬式テニス	ハンドボール	システム開発研究会	生協学生同好会
硬式野球	バレーボール	将棋	数学同好会
サッカー	ラグビーフットボール	情報処理研究会	電気技術研究会
柔道	陸上競技	吹奏楽	
少林寺拳法		美 術	
水 泳		放 送	



バドミントン部

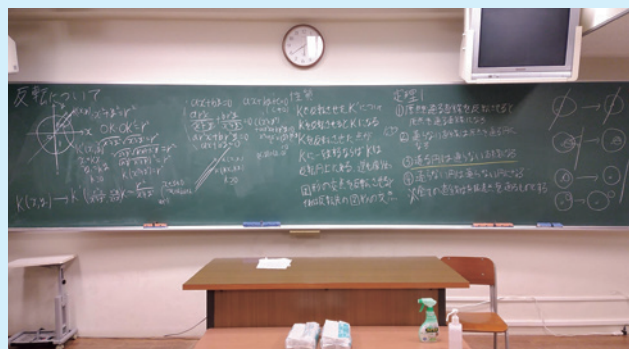
物質化学工学科3年 奥村 望 央

こんにちは。私たちはバドミントン部です。

私たちは週5日第一体育館で活動しています。練習では基礎練習に加えて試合を想定した練習も多く行っています。

その成果も実り、昨年度の近畿大会では男子女子共にシングルス優勝、男子ダブルス・団体優勝、女子ダブルス・団体準優勝という結果を残すことができました。経験者も多く、教えあい、協力することができる仲の良いメンバーだからこそその結果だと思っています。今年度は、近畿大会だけでなく、全国大会でも結果を残せるように頑張りたいと思っています。

初心者の方でも教えてもらいながら活躍しています!ぜひ入部して私たちと最高の思い出を作りましょう!



数学同好会

物質化学工学科3年 土井 花 織

数学同好会では、週に2回放課後に集まって、数学の問題を解いたり、興味深い数学に関する話題を共有したりする活動をしています。「この問題、解ける?」と出し合ったり、「こんなところにも数学が使われている!」と話したりと、メンバー同士で活発に交流し合える、自由な雰囲気です。また、メンバーで教え合いながら授業の課題をすることができると、自習室のような一面もあります。

2024年度の高専祭では、中学生や小学生向けに数学の問題をまとめた冊子を用意し、一緒に解いてもらう企画を実施しました。問題を解くだけでなく、数学の面白さや奥深さを伝える機会にもなっています。普段の活動も、考える楽しさを大切にしながら進めています。



クリスマスコンサートwith Nanyang Technological University

物質化学工学科2年 田岡 荘 太

私たち吹奏楽部では、毎年12月に校内でクリスマスコンサートを行っています。クリスマスコンサートは毎年2年生が企画準備をして、学生や教職員の方々に私たちの演奏をお届けするコンサートです。そこで、2024年のクリスマスコンサートの企画をしているとき、顧問の先生からこんなお話をいただきました。

「シンガポールにあるNanyang Technological Universityの吹奏楽部が近畿地方に来る予定です。ちょうどクリスマスコンサートの日程と重なるので、彼らにも出演してもらうのはどうですか?」

当時、クリスマスコンサートの運営を任されていた私たちは、何事も経験が大切だと思い、彼らに参加してほしいとお願いすることに決めました。そして、ありがたいことに快諾していただきました。それからの準備期間は想像以上に大変で、たくさんの課題に追われることになりました。私たち2年生はこれまでコンサートの運営をしたことがなく、このクリスマスコンサートは、初めてコンサートの運営を学ぶ場でもありました。初めての運営でただでさえ不安な中、学校外からのスペシャルゲストへの対応という前例のない状況にも対応しなければならませんでした。当日の司会進行を担当する予定だった私は、あまり英語が上手でなく、予め必要になりそうな文章をすべて準備する必要がありました。その他にも、交流会としてのレクリエーションやお土産の準備など、本当に忙しかったことを覚えています。

そして迎えた本番は、私たちの演奏から始まりました。その時、Nanyang Technological Universityの皆さんは、手拍子や歓声などで演奏を盛り上げてくださいました。そしてそのお返しと言わんばかりに、私たちも彼らの演奏にたくさんの手拍子を送りました。

クリスマスコンサート終了後は時間の都合でレクリエーションが実施出来ませんでしたが、そのかわりに担当楽器ごとに分かれ、お土産の交換会を行いました。私たちの中には英語が得意でない人もいましたが、身振り手振りをういてコミュニケーションをとっていました。私も拙い英語ながら感謝の気持ちを伝え、一緒に写真をとっていただきました。

最後までドタバタしていたクリスマスコンサートでしたが、今振り返ってみると本当に貴重な経験だったと思います。素晴らしい演奏を下さったNanyang Technological University吹奏楽部の皆さま、本当にありがとうございました。



令和6年度後期 学生表彰者

- 優秀賞**…………… 在学5年間に於いて、学業成績が優秀で、人物が優れている者に贈られます。
- 特別賞イ**…………… 在学期間中、全国高専大会に3回以上出場した者並びに課外活動等において特別な功績があった者に贈られます。
- 特別賞ロ**…………… 全国大会又はこれに準ずる大会において、優勝又は準優勝した個人又は団体に贈られます。
- 特別賞ハ**…………… ロに準ずる催し物において、それらと同等と認められる成績を挙げた個人又は団体に贈られます。
- 特別賞ニ**…………… 学校内外において特別な善行、学生の模範として推奨できる行為又は功労等のあった個人又は団体に贈られます。
- 専攻科研究優秀賞**…………… 専攻科在学期間中、論文等の特に優れた学術研究活動が認められた者に贈られます。

優秀賞(11名)

機械工学科5年	東方杏志郎	山根 涼雅
電気工学科5年	北田 恵裕	笹川 航平
電子制御工学科5年	紅野稔太郎	中窪 大翔
情報工学科5年	澤田 祥太	吉田 彩人
物質化学工学科5年	上垣 菜春	寺田 歩生
LEE KAI CHENG (チェン)		

特別賞イ(10名)

機械工学科5年	吉松 蒼唯	全国高等専門学校体育大会 剣道競技 第54・57・58回 出場
	江口 開	全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第51・52・54・55回 優勝、第53回 出場
	喜多 拳世	全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第51・52・54・55回 優勝、第53回 出場
	野田 和成	全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第51・52・54回 優勝、第53回 出場
	宮本 博司	学生会活動 功労(学生会長1期、書記1期)

電気工学科5年	今元 賢	全国高等専門学校体育大会 水泳競技 第56～59回 出場
	笹川 航平	全国高等専門学校体育大会 陸上競技 第56・58・59回 出場

電子制御工学科5年	中村 大陽	全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第51・52・54・55回 優勝、第53回 出場
-----------	-------	---

情報工学科5年	竹田 時英	全国高等専門学校体育大会 陸上競技 第56～59回 出場
---------	-------	------------------------------

物質化学工学科5年	山本 莉久	全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第51・52・54・55回 優勝、第53回 出場
-----------	-------	---

特別賞ロ(25名)

第55回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 優勝	機械工学科5年	江口 開	喜多 拳世
	電子制御工学科5年	中村 大陽	
	物質化学工学科5年	山本 莉久	
	機械工学科4年	南崎 壽伸	
	電気工学科4年	宮川 匠	
	機械工学科3年	岡本 優誠	小泉 心護
		丸本 隼大	宮下 翔
	電気工学科3年	小川 正悟	
	情報工学科3年	佐藤 清正	
	機械工学科2年	垣本 祥吾	
	電気工学科2年	中原 颯遵	八方 悠斗
		松村 奏佑	
	電子制御工学科2年	前田 篤彦	
	物質化学工学科2年	高木 啓達	森川 温史
	機械工学科1年	窪田明日斗	箕浦 悠月
	電気工学科1年	伊藤 遼哉	加来 将暢
		林 航太郎	本田 煌翔

令和6年度修了生 専攻科研究優秀賞(5名)

システム創成工学専攻機械制御システムコース	笹原 大雅	面前 太郎
システム創成工学専攻電気電子システムコース	福岡 万優	
システム創成工学専攻情報システムコース	青木 晃汰	
物質創成工学専攻	縄手 祥希	

令和6年度 英語学習表彰者

英語学習表彰制度

本校学生の英語力向上を図るため、TOEICスコアの優秀者と英語検定合格者を表彰する制度です。令和6年度は計15名の学生が、次の基準によって表彰を受けました。

英語学習優秀賞

本科生・専攻科生のうちTOEICスコア735点以上または英検準1級以上に合格した者

英語学習奨励賞

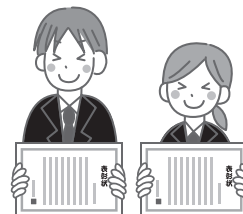
本科生・専攻科生のうちTOEICスコア605点以上または英検2級に合格した者

英語学習優秀賞(9名)

機械工学科2年	宿谷 治希
電子制御工学科2年	岩崎 史芳
物質化学工学科2年	渡邊 周平
情報工学科4年	(氏名非公表)
機械工学科5年	岡本 圭太
機械工学科5年	桑原 幸汰
システム創成工学専攻機械制御システムコース2年	谷口 真爽
システム創成工学専攻電気電子システムコース2年	西井 丈流
システム創成工学専攻電気電子システムコース2年	福岡 万優

英語学習奨励賞(6名)

電子制御工学科2年	江口由利子
情報工学科2年	栗村 羽月
情報工学科4年	中辻 美憂
情報工学科4年	西澤 恭祐
電気工学科5年	笹川 航平
物質化学工学科5年	上垣 菜春



タイ、モンゴル、ベトナム……。これらの国々にもKOSENがあることを知っていますか。「高専」は優秀な実践的技術者を養成するために創設された日本独自の高等教育機関ですが、今や海外からも注目されるようになっていきます。その結果、将来、皆さんが海外の高専を卒業した人と同じ職場で働く可能性も出てきました。

技術者のキャリア形成において、工学の知識や技術力が求められることはいうまでもありませんが、皆さんには海外の人たちと協働する力が求められています。また、その際に必要となるのが英語によるコミュニケーション力です。

奈良高専では、グローバル教育の一環として、海外協定校と協力して海外派遣や海外学生の受け入れ事業を行っています。とくに令和5年度から始まった「高専生の海外派遣支援事業」により、海外派遣に対するより多くの経済的支援が可能となっています。在学中から海外学生との交流を積極的に行うことで、まずはグローバル・マインドを高める機会をつかんでください。

現在、グローバル教育センター(図書館棟1階)では、皆さんが海外に行く機会を増やすために海外教育機関との協定締結を進めています。令和5～6年度には、明志(ミンチー)科技大学(台湾)、ドゥウォン工科大学(韓国)、キングモンクット工科大学トンブリ校(タイ)、テマセク・ポリテクニク(シンガポール)と新たな交流協定を締結しました。これにより、皆さんが海外へ飛躍するチャンスがますます広がるはずです。国際交流に関する案内は適宜、「学生掲示板」に掲示していますので、ぜひ定期的にチェックするようにしましょう。

併せて、海外に飛躍するためにはそれなりの準備も必要です。奈良高専では、皆さんの英語学習をサポートする目的で無料の「e-ラーニング・システム」を導入しました。対象は、専攻科生を含む、本科2年生以上の在校生です。無料で受講できますが、各自で受講登録を行う必要があります。令和7年度以降も実施する予定ですので、積極的な活用をお願いします。



キングモンクット工科大学
トンブリ校付属高専
(KOSEN-KMUTT) (バン
クンティエン・キャンパス)
にて：2025年1月23日



KMUTTとの協定締結式の記念写真
(KMUTT(バンモット・キャンパス)にて：2025年1月23日)

しなやかエンジニア教育プログラムでの5年間の学び

「しなやかエンジニア教育プログラム」が開始されて6年。工学とは異なる分野の学びを通して物事を様々な角度から捉え新たな価値を創造するための感性と、その価値を形として表現する力を育てることを目指し、正課外プログラムとして実施してきました。

令和7年3月に2期生17名が5年間の学びを修了し、このプログラムで得たものを糧として、新天地での新たな挑戦に向けて動き出します。

～コトづくりの旅～

機械工学科5年 宮本 博司

「しなやかエンジニア教育プログラム」での5年間は、まさに「コトづくり」の旅でした。入学当初の応募面接で、「コトづくりをできる人間になりたいです」と述べたことを鮮明に覚えています。高専といえば「モノづくり」技術を追求することを一番に考えていましたが、このプログラムでの学びは、私の視野を大きく広げることにつながりました。他学科の学生の皆様と協力し、新しい価値を生み出す経験は、技術力だけでなく、コミュニケーション能力やリーダーシップを養う上で大変良い経験でした。また、長期休業中のワークショップを通して、多様な価値観に触れ、柔軟な思考を身につけることができました。5年間を通して、技術は社会と深く繋がり、人々の生活を豊かにするためにあることを学びました。これからは、高専で培った技術力と柔軟な発想力を活かし、世のため人のため、社会に貢献できるよう成長したいと思います。



「視野を広げるデザイン思考」の講義の様子

～「面白い」人たちとの出会いに感謝～

物質化学工学科5年 藤井 陽

自分にとって非常識とも思えるアイデアを提案されたとき、皆さんならどうしますか?「それは間違いだ」と切り捨ててしまえばそれでその話は終わりです。でも、もし「面白い」と思うことができたなら、それは新しい視点を手に入れるきっかけになるかもしれません。

しなやかエンジニア教育プログラムでは、多様な経歴を持った講師の先生方のお話を聞いたり、グループワークを通して様々な課題解決に取り組んだりしました。それらを通して聞いた皆さんの意見は共感できるものも多くあった一方、それまでの自分と正反対のものも同じくらい多くありました。

このような意見に触れるうちに、自分の考えも、それと正反対の考えもどちらも正解になりうる面白い部分があると思うようになりました。この「違うことを面白いと思える」感性を得られたことは、多様化する社会をより良くしていくエンジニアを目指す者として非常に重要な学びであったと思っています。





なでしこプロジェクト

公開講座から学んだこと

物質化学工学科3年 岡井 優実

私たちなでしこプロジェクトは、“女性であることが強みになり、みんなが笑顔で過ごせるようになりますように”という目標の下、広報活動を行うダイバーシティ推進委員会のプロジェクトです。

奈良高専の女子学生の割合を増やすことを目的に、これまでに女子小中学生を対象とした公開講座の実施やSNSでの情報発信、フォーラムなどでの発表を行ってきました。

昨年12月には、イオンモール大和郡山においてフラワーライト公開講座を行いました。フラワーライトは、可変抵抗を操作すると発光ダイオードの色が変わり、その光がレジンで作った花を照らすという作品です。今回は、奈良高専の公式キャラクター“じゃんぺん”が花を持っているような仕上がりになりました。

私たちは、フラワーライトに必要な物品の発注から製作、当日の運営を行いました。当日は、参加者に分かりやすい説明ができるよう、講座内容の構成を工夫しました。これまで私たちは、先輩の指示に従い、受け身で動くことが多かったのですが、小中学生への説明を考えながら部品を準備し、パワーポイントを作成することで、指導力を身につける良い機会となりました。

また、講座を実施するにあたり、事前予約の参加者がそろわな

いという予想外の出来事もありました。このことで、開始時刻が遅れてしまいましたが、役割を分担することで、時間内に講座を終えることができました。

今回の経験を通して、準備を計画的に行い、臨機応変に対応することの重要性を学びました。

来年度は、KOSEN FESなどの発表を予定しています。さらに、学内での公開講座を実現させたいと考えています。今回の経験をこれからの活動にも活かしていきたいです。



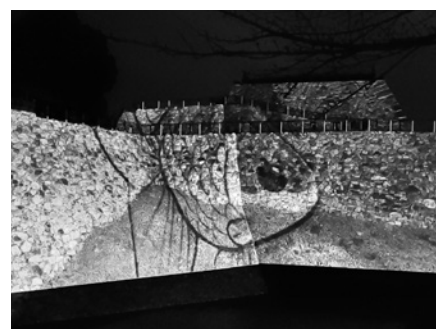
郡山城天守台プロジェクションマッピング

情報工学科4年 鄭 佳音

3・4年生が受講する情報アクティブラーニングで、私たちのグループは、画像生成AIと動画生成ソフトを活用し、郡山城に投影するプロジェクションマッピングを制作しました。テーマは「大和郡山市の春夏秋冬」です。自然豊かで歴史ある大和郡山市は2024年に市制70周年を迎え、そのお祝いの気持ちを込めて取り組みました。画像や動画の生成にはAIを使用し、最終的には動画編集ソフトでシーンを繋ぎ、作品を完成させました。

最も苦労したのは、動画の構成と動きの調整です。単調にならないようカメラワークやスピード感を工夫し、違和感のある箇所は手動で修正を重ねました。

制作を通じてAIの進化を強く実感しました。昨年度のAIに比べ精度が向上しており、技術の急速な進化を感じました。一方で、まだ人力による修正が必要な場面も多くありました。動画作成経験者がAIを活用すれば、AIの利便性を最大限に引き出し、さらに高品質な動画制作が期待できると考えます。



学生支援センターから

カウンセラーだより

心のモヤモヤ、どう解消する？

カウンセラー 小松 愛

高専の皆さん、初めまして。昨年11月よりスクールカウンセラーに着任した小松愛です。これからどうぞよろしくお願いいたします。

皆さんは「自律神経」について聞いたことがあるでしょうか。いわゆる心身の「オン」と「オフ」を調整するスイッチです。ストレスが続くと「ずっとオン」「強制的にオフ」など心身に不調をきたします。こうした自律神経の乱れを防ぐべく、

こまめなストレス対処が大切です。

たとえば「大勢の前で発表する」や「苦手な人と会う」という時。考えるだけで身体が強張り、動悸や食欲減退、不眠、腹痛や冷や汗…などなど、様々な症状が現れます。一時的なことも多いですが、これをしばらく味わうのも嫌ですね。そこで1つ、対処法をご紹介します。ゆっくり口から息を吐き、おなかの空気を抜く。これだけです。数回繰り返していると、不思議と緊張が解れていくので試してみてください。

相談室も皆さんのリフレッシュの場になればと思っています。気軽に利用してくださいね。



全国高専ラグビーフットボール大会 7回目の全国制覇

機械工学科5年 野田 和成

私たちラグビー部は1月4日から始まった全国高専ラグビーフットボール大会で、2大会連続7回目の優勝を果たすことが出来ました。昨年からの課題であるペナルティを減らすために、辛い状況でも全員が規律を守り、ワンチームとして乗り越えることに重点を置いて取り組んできました。また、ウェイトトレーニング、自主トレによってフィジカル面の強化も行ってきました。特に自主トレは昨年度よりも意識的に取り組み、多人数でのスキル練習を行うなど、ブレースキルを磨くことに注力してきました。今年は「熱いチーム」というテーマでチームを作ってきました。そのため、私たちはどんなに辛い状況でもチームのために声を掛け合うことを止めず、粘り強くプレーしてきました。これに取り組んできたからこそ、決勝での接戦に勝利することができたと思います。

私は近畿高専大会にて負傷してしまい、全国大会に出場することも、練習に参加することもできませんでした。そんな状況でも、チームを勝利に導いてくれた仲間には本当に感謝しています。

私たちが優勝できたことは、多くの人が支えてくださったおかげです。保護者をはじめ、OBの方々、学校関係者の皆様に感謝申し上げます。保護者の皆様、お忙しいとは思いますが、後輩たちが辛い時や苦しい時には、ぜひ一番近くで応援していただけますよう、心よりお願い申し上げます。来年度も優勝に向けて励んでまいりますので、応援よろしくお願いします。



キャンパスメンバーズ制度 是非ご活用ください

本校では、奈良国立博物館との連携による「キャンパスメンバーズ制度」を導入しています。

学校と国立博物館が連携を図ることによって、文化や歴史を学ぶ場や機会を提供すること、世界遺産や美術に親しむ機会を増やすことで、より豊かな教養と感性を身につけていただくことを目的としています。

本校学生・教職員が学生証・職員証を提示することで、以下の特典を受けることができますので、是非この制度をご活用ください。

主な特典 ● 平常展・特別陳列の無料観覧
● 特別展の観覧料金割引 など

特別展「超 国宝一祈りのかがやき」

会期：令和7年(2025)4月19日(土)～6月15日(日)

前期展示：4月19日(土)～5月18日(日)

後期展示：5月20日(火)～6月15日(日)

※本イベントについては学生及び教職員は割引料金で観覧できます。

高専祭について

高専祭実行委員長 電子制御工学科4年 小林 和樹

高専祭実行委員会委員長の小林和樹です。今年度の高専祭が開催できましたことを心より嬉しく思っています。高専祭は多くの人々の協力によって成り立っており、半年にわたる準備期間を含めて、多くのご協力をいただきありがとうございました。

今年の高専祭には、約3000人の来場者があり、昨年と同じ規模での開催となりました。皆様のご協力無くしては、ここまで来ることは出来なかったでしょう。高専祭実行委員や教職員、学生の皆様が一丸となって取り組んだ結果、無事に成功を収めることができました。

高専祭は単なるイベントではなく、高専生活の重要な一部であり、学生同士の絆を深める場でもあります。展示や企画、模擬店などを行う中で、交流が生まれる瞬間は、本当に貴重な経験です。また、先輩方から受け継がれたことを守りつつも、今年は新たに改善点を見つけ出し、来年度に向けて更なる発展を目指していきたいと考えています。

もちろん、改善は一朝一夕に成し遂げられるものではありません。しかし、我々実行委員会としては、今後のイベント運営を通じて、より良い高専祭を実現するために努力を続けます。皆様からのフィードバックを大切に、来年の高専祭の成功に繋げていく為に後輩たちに引き継いでいく所存です。

最後に、第58回高専祭にご参加いただき、誠にありがとうございます。来年もまた、皆様と一緒に素晴らしいイベントを創り上げることを心から楽しみにしています。引き続き、高専祭へのご協力をよろしくお願いいたします。



卒業記念品の寄贈

令和6年度卒業生の皆さんから、卒業記念品として「背もたれ付きベンチ」を寄贈していただきました。卒業生の皆さん、どうもありがとうございました。



編集後記

「挑戦と成長」。卒業生や専攻科修生の記事を通じて、在学中の5年間や7年間にわたる皆さんの努力の軌跡に改めて感銘を受けました。研究活動、課外活動、学生アイデアチャレンジ、グローバル教育、しなやかエンジニア教育、などここプロジェクトなど、それぞれの活動においても、目標に向かって挑み続け、大きな成果を生み出していることが印象的でした。本校で培った多くの経験を糧に、これからも挑戦を重ね、さらに大きく成長していくことを期待しています。

奈良高専広報センター

CAMPUS について

本校では、広報誌「CAMPUS」を11月と3月の年2回発行し、在学生の保護者の方々へ送付しています。また、「CAMPUS」は本校ホームページ(トップページ>学生生活>CAMPUS(広報誌))にも掲載しています。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。